

令和 7 年度埼玉県生活習慣病検診管理指導協議会 部会概要

1 議題と事務局説明要旨（5がん共通）

（1）市町村におけるがん検診実施状況について（令和 5 年度がん検診結果統一集計）

埼玉県は、市町村が実施するがん検診の有効性評価を支援することを目的に、がん検診精度管理事業として統一集計を実施している。統一集計では、受診率とプロセス指標をデータとして算出し、県全体の報告書と市町村別に結果を分析した報告書を各市町村にフィードバックしている。県は、検査結果を把握し、分析・評価を行い、検査の改善を指導することにより検診の精度管理の向上を図っている。

部会では、埼玉医大柴崎委員から報告をしていただいた。

【各がんの精度管理指標の特徴】**（胃がん）**

令和 5 年度 50 歳～69 歳の受診者数は 86,843 人で、令和 4 年度 83,601 人と比べて多い。受診率は 6.9%で、5 がんの中で女性ががん以外では最も高い。全てのプロセス指標で許容値を満たしており、特に精検受診率と精検未受診率は目標値を満たしている。受診率の向上を目指すことが今後の課題である。

（肺がん）

令和 5 年度 40 歳～69 歳の受診者数は 166,712 人で、令和 4 年度 167,742 人と比べて少ない。受診率は 5.6%で、5 がんの中で最も低い。前年度と比べて精検未把握率が改善し、全てのプロセス指標で許容値を満たしており、受診率の向上を目指すことが今後の課題である。

（大腸がん）

令和 5 年度 40 歳～69 歳の受診者数は 195,423 人で、令和 4 年度 198,236 人と比べて少ない。受診率は 6.6%で、肺がんに次いで低い。精検受診率は許容値を満たしている。また、精検未把握率は 5 がんの中で子宮頸がんに次いで高い。受診率の向上とともに、精検未把握率を下げるのが今後の課題である。

（乳がん）

令和 5 年度 40 歳～69 歳の受診者数は 110,471 人で、令和 4 年度 108,655 人と比べて多い。受診率は 14.4%で、5 がんの中では子宮頸がんに次いで高い。また、全てのプロセス指標で許容値を満たしており、特に、精検未受診率は目標値を満たしている。受診率の向上を目指すことが今後の課題である。

（子宮頸がん）

令和 5 年度 20 歳～69 歳の受診者数は 205,422 人で、令和 4 年度 158,241 人と比べて多い。受診率は 16.1%で、5 がんの中で最も高い。プロセス指標については、精検未受診率は許容値を満たしているものの、精検未把握率が高く、精検受診率が許容値を満たしていない。精検未把握率を下げるのが今後の課題である。

(2) 「がん検診事業のあり方について」(令和5年6月)を踏まえた今後の埼玉県がん検診精度管理評価事業における方針について

埼玉県では、市町村からがん検診結果のデータを収集し、平成20年の「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方報告書」で示されたプロセス指標、許容値と目標値をもとに結果の分析・評価を行い、その結果を市町村にフィードバックすることでがん検診の精度管理を支援してきた。

令和5年6月に、当該報告書の改定版に当たる「がん検診事業のあり方について」で新たなプロセス指標基準値が示され、同時期に改正された国指針では、改正後の報告の内容に沿った精度管理が求められている。

こうした状況を踏まえて、今後の本県における精度管理評価における当該指標の採用について検討を行い、各がん部会で承認をいただいた。

(3) 全国がん登録罹患報告書「埼玉県のがん2021」について

「がん登録等の推進に関する法律」が平成28年から施行され、全ての病院と指定された診療所から届出されたがんの罹患情報を突合・整理し、罹患報告書「埼玉県のがん」として毎年度、公表している。

部会では、事務局より「埼玉県のがん2021」について報告を行った。

2 各部会の開催概要

別添の各部会報告のとおり。

令和7年度埼玉県生活習慣病検診管理指導協議会 胃がん部会報告書

1 開催日時 令和8年2月9日(月) 18時00分～19時00分

2 開催方法 Microsoft Teamsによるオンライン開催

3 出席委員 水谷 元雄委員、竹田 広樹委員、今枝 博之委員、
江原 一尚委員、辻村 信正委員、柴崎 智美委員

4 議事

(1) 市町村における胃がん検診実施状況について(がん検診統一集計)

柴崎委員から資料に基づき報告があった。

これについて、委員及び事務局に対し以下のとおり質疑があった。

(○：質疑委員 ◎：柴崎委員 ●：事務局)

○：対策型検診について、地域によって年齢制限は多様なのか。

◎：そのとおり。市町村によって異なる。

○：検診のお知らせは市町村から県民へ、どのように通達がいつているのか。

◎：個別の勧奨や、回覧板等の媒体で案内していることもある。

●：そのほかに、世帯単位での通知や、ホームページ等で案内をしている自治体もある。個別に通知することや未受診の方に通知するといった取り組みが効果的といわれているため、そのような取り組みをお願いしているが、予算等の問題で難しいと言われる場合もある。

○：検診受診率が低い状態が続いているのは、周知方法に問題があると考え。個別勧奨できない自治体は、県でも周知するなどすることが、検診受診率向上のために必要だと思う。また、未受診の方への通知方法についても考える必要がある。

(2) 「がん検診事業のあり方について」(令和5年6月)を踏まえた今後の埼玉県がん検診精度管理評価事業における方針について

事務局から、今後の本県の胃がん検診の精度管理評価において採用するプロセス指標及び基準値案について説明があった。

これについて、次のとおり事務局に対し質疑及び意見があった。

(○：質疑委員 ●：事務局)

○：検診間隔が「2年に1回」と「年1回」の実施市町村数の比較等の説明があったが、「2年に1回」と「年1回」の受診者数の比較はできるか。

- ：手持ちの資料はないが、データから算出することは可能。（部会終了後、胃がん部会委員にメールにて提供）
- ：対象年齢上限74歳の基準値を採用することについて、埼玉県としての報告をする上では問題ないが、胃がん検診受診者の年齢分布をみると75歳以上も多い。統計上はいらぬというだけで、受診しなくてもいいということではないと思う。最近の内視鏡で切除ができるケースもある。75歳以上については、どのように理解したらよいか。
- ：統計上は74歳ということになるが、市町村に提出をお願いしている統一集計表は75歳以上も数値を出していただいている。引き続き、75歳以上についても数値を集計しチェックしていただく。

プロセス指標及び基準値案について

案のとおり認める。（承認した新基準値等について別紙1のとおり）

- (3) 全国がん登録罹患報告書「埼玉県のがん2021」について（報告）事務局から、資料に基づき説明があった。
- (4) 「胃がん検診 受診票 兼 結果報告書」（県統一様式）の一部修正について事務局から、資料に基づき説明があった。

「胃がん検診 受診票 兼 結果報告書」（県統一様式）の一部修正について
案のとおり認める（承認した報告書様式は別紙2、3のとおり）

今後の本県における胃がん検診の精度管理評価に用いる新基準値

【50～74歳】

精検受診率			90%以上
要精検率	男女計	受診歴計	内視鏡 7.7%以下
	(男性)		X線 7.6%以下
	(女性)		(内視鏡 9.4%以下)
			(X線 9.3%以下)
がん発見率	男女計		内視鏡 6.6%以下
	(男性)		(X線 6.6%以下)
	(女性)		内視鏡 0.19%以上
			X線 0.11%以上
陽性反応適中度	男女計	(内視鏡 0.32%以上)	
	(男性)	(X線 0.19%以上)	
	(女性)	(内視鏡 0.09%以上)	
		(X線 0.05%以上)	
	男女計	内視鏡 2.5%以上	
	(男性)	X線 1.5%以上	
	(女性)	(内視鏡 3.4%以上)	
		(X線 2.0%以上)	
		(内視鏡 1.4%以上)	
		(X線 0.8%以上)	

※精検未受診率・精検未把握率については、評価指標としないが引き続き集計し、精検受診率が低い場合の分析ツールとして適宜活用する。

胃がん検診 受診票 兼 結果報告書

①一次検診実施機関控

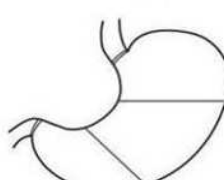
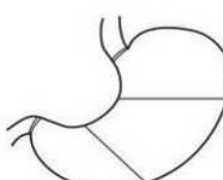
〇〇(市町村)胃がん検診を申し込みます。
この受診票と検診結果及び精密検査の結果が医療機関から〇〇(市町村)へ返送されることを了承します。

受付番号		検診年月日	
〇〇(市町村)胃がん検診 申込 兼 同意書(本人署名)			
住所	(〒)		
フリガナ			男・女
名前		様	
生年月日	年 月 日	(歳)	
電話番号			

問診内容 ※該当する項目の□にシ点を記入してください

① 胃がん検診を受けたことがありますか。	<input type="checkbox"/> はい ⇒ <input type="checkbox"/> エックス線検査[バリウム] (年 月頃) <input type="checkbox"/> 内視鏡検査 [胃カメラ] (年 月頃) ➤結果: <input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 要精密検査 <input type="checkbox"/> いいえ
② 血縁者で「がん」にかかった人はいますか。	<input type="checkbox"/> はい ⇒ <input type="checkbox"/> 胃がん <input type="checkbox"/> その他のがん() 血縁関係: <input type="checkbox"/> 父母 <input type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> 兄弟/姉妹 <input type="checkbox"/> 祖父母 <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わからない
③ 今までにお腹の病気と診断されたり、 お腹の手術をしたことがありますか。	<input type="checkbox"/> はい ⇒ 病名: <input type="checkbox"/> 胃がん <input type="checkbox"/> 胃潰瘍 <input type="checkbox"/> 胃ポリープ <input type="checkbox"/> 胃炎 <input type="checkbox"/> 十二指腸潰瘍 <input type="checkbox"/> その他() 手術: <input type="checkbox"/> 胃・十二指腸 <input type="checkbox"/> 膵臓 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> いいえ
④ 最近、気になる症状がありますか。	<input type="checkbox"/> はい ⇒ <input type="checkbox"/> 胃の痛み <input type="checkbox"/> 食欲不振 <input type="checkbox"/> むねやけ <input type="checkbox"/> げっぷ <input type="checkbox"/> 体重減少 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> いいえ
⑤ ヘリコバクター・ピロリ菌の検査や除菌を受けたことはありますか。	<input type="checkbox"/> はい ⇒ 検査 (年 月頃) <input type="checkbox"/> 陰性 <input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 不明 除菌 (年 月頃) <input type="checkbox"/> 成功 <input type="checkbox"/> 不成功 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> いいえ
⑥ のどの麻酔や歯の治療で気分が悪くなった ことがありますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑦ 血液をさらさらにする薬を飲んで いますか。または、飲んで いたことがありますか。	<input type="checkbox"/> はい(薬剤名:) <input type="checkbox"/> いいえ
⑧ 緑内障や眼圧が高いと言われた ことがありますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑨ 入れ歯を入れていますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑩ 今までに鼻の病気と診断されたり、 鼻の手術をしたことがありますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑪ (女性のみ) 妊娠中または妊娠の 可能性がありますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

【胃がん検診 結果報告書】

一次読影		二次読影	
読影医	診断	読影医	診断
 生検(有・無) 医師コメント欄:	1 胃がんなし <input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> がん以外の疾患あり 2 胃がん疑い 3 胃がん 4 胃がん以外の悪性病変	 医師コメント欄:	1 胃がんなし <input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> がん以外の疾患あり 2 胃がん疑い 3 胃がん 4 胃がん以外の悪性病変
	判定 1 精密検査不要 <input type="checkbox"/> がん以外の疾患について要検査 2 要精密検査 3 判定不能 4 要検査(胃がん以外の悪性病変)		判定 1 精密検査不要 <input type="checkbox"/> がん以外の疾患について要検査 2 要精密検査 3 判定不能 4 要検査(胃がん以外の悪性病変)

総合判定

1精密検査不要 2要精密検査(胃がん疑い) 3判定不能
 4要検査 胃がん以外の悪性病変(食道がん・食道胃接合部がん・十二指腸がん・悪性リンパ腫・粘膜下腫瘍・その他())
 がん以外の疾患

検査に伴う偶発症 なし あり(入院治療を要するもの 偶発症による死亡 その他())

検診実施医療機関名	
判定医師名	

胃がん検診 受診票 兼 結果報告書

①一次検診実施機関控

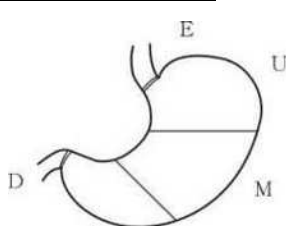
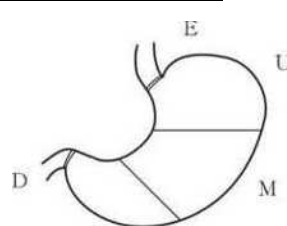
〇〇(市町村)胃がん検診を申し込みます。
この受診票と検診結果及び精密検査の結果が医療機関から〇〇(市町村)へ返送されることを了承します。

受付番号		検診年月日	
〇〇(市町村)胃がん検診 申込 兼 同意書(本人署名)			
住所	(〒)		
フリガナ			男・女
名前		様	
生年月日	年 月 日	(歳)	
電話番号			

問診内容 ※該当する項目の□にレ点を記入してください

① 胃がん検診を受けたことがありますか。	<input type="checkbox"/> はい ⇒ <input type="checkbox"/> エックス線検査[バリウム] (年 月頃) <input type="checkbox"/> 内視鏡検査 [胃カメラ] (年 月頃) ➤結果: <input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 要精密検査 <input type="checkbox"/> いいえ
② 今までにバリウムを飲んで具合が悪くなったことがありますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
③ 血縁者で「がん」にかかった人はいますか。	<input type="checkbox"/> はい ⇒ <input type="checkbox"/> 胃がん <input type="checkbox"/> その他のがん() 血縁関係: <input type="checkbox"/> 父母 <input type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> 兄弟/姉妹 <input type="checkbox"/> 祖父母 <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わからない
④ 今までにお腹の病気と診断されたり、おなかの手術をしたことがありますか。	<input type="checkbox"/> はい ⇒ 病名: <input type="checkbox"/> 胃がん <input type="checkbox"/> 胃潰瘍 <input type="checkbox"/> 胃ポリープ <input type="checkbox"/> 胃炎 <input type="checkbox"/> 十二指腸潰瘍 <input type="checkbox"/> その他() 手術: <input type="checkbox"/> 胃・十二指腸 <input type="checkbox"/> 膵臓 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> いいえ
⑤ 最近、気になる症状がありますか。	<input type="checkbox"/> はい ⇒ <input type="checkbox"/> 胃の痛み <input type="checkbox"/> 食欲不振 <input type="checkbox"/> むねやけ <input type="checkbox"/> げっぷ <input type="checkbox"/> 体重減少 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> いいえ
⑥ ヘリコバクター・ピロリ菌の検査や除菌を受けたことはありますか。	<input type="checkbox"/> はい ⇒ 検査 (年 月頃) <input type="checkbox"/> 陰性 <input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 不明 除菌 (年 月頃) <input type="checkbox"/> 成功 <input type="checkbox"/> 不成功 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> いいえ
⑦ 腸閉塞(大便が詰まって苦しくなる)になったことがありますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑧ 心臓病や透析などで水分制限を受けていますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑨ 緑内障や眼圧が高いと言われたことがありますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑩ (男性のみ)前立腺肥大や尿が出にくいといった症状がありますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑪ (女性のみ)妊娠中または妊娠の可能性がりますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

【胃がん検診 結果報告書】

一次読影 読影医 _____  判定 X 1 2 3a 3b 4 5	二次読影 読影医 _____  判定 X 1 2 3a 3b 4 5	診断	
		部位区分	
		A区分	B区分
		E 食道 L 胃下部	1 小弯側 3 大弯側
		U 胃上部 D 十二指腸	2 粘膜面 4 全周性
		M 胃中部 R 残胃	
		所見区分	
		1 隆起性病変 5 欠損 9 弯入・陥入	
		2 皺襞集中 6 陥凹性病変 10 粘膜凹凸不整	
		3 変形 7 皺襞異常 11 その他	
		4 伸展不良 8 硬化	
		判定区分	
		X 判定不能	3b 存在又は量的診断が困難
		1 胃炎・萎縮の無い胃	4 存在が確実に悪性を疑う
		2 慢性胃炎を含む良性病変	5 ほぼ悪性と断定できる
		3a 存在が確実にほぼ良性だが 精密検査が必要	

総合判定

1 判定不能 2 精密検査不要 3 要精密検査(胃がん疑い) 4 その他(胃がん以外の要検査等)

検診実施医療機関名
判定医師名

令和7年度埼玉県生活習慣病検診管理指導協議会 肺がん部会報告書

- 1 開催日時 令和8年1月13日(火) 18時00分～19時34分
- 2 開催方法 Microsoft Teamsによるオンライン開催
- 3 出席委員 桃木 茂委員、中山 光男委員、高橋 みゆき委員、高橋 伸政委員、平野 宏和委員、柴崎 智美委員

4 議事

(1) 市町村における肺がん検診実施状況について(がん検診統一集計)

柴崎委員から資料に基づき報告があった。

これについて、委員及び事務局に対し以下のとおり質疑があった。

(○：質疑委員 ◎：柴崎委員 ●：事務局)

- 毛呂山町と東秩父村の受診率で非常に高い数値が出ていたが、何か特別な対策を取っているのか。
- 東秩父村については、数年前まで各家庭を回って受診を呼びかける等の小さな村ならではの取り組みをされていたという話を聞いている。
- 精検受診率を見ると、大きい自治体は受診率が高く、町が低いという傾向があるものの、長瀨町が0%となっているが、これは間違いというわけではないのか。
- ◎ 市町村規模が小さいと、受診者数や要精密検査数が大変低く、精検受診率が低くなる市町村は時々ある。
やはり受診率を上げて精検受診率・要精密検査率をある程度に保っていないと、それ以降の精度管理指標の評価が難しく、長瀨町に関してもそういった可能性があると思う。
- 経年的に受診率の低い市町村に対する対策等について、具体的に良い提案みたいなものはあるか。
- ◎ 直接的に関わっていないが、疾病対策課が訪問して指導やヒアリングをしているので、そこを少し整理して、私のほうでも確認をして提案できることがあればと考えている。

(2) 「がん検診事業のあり方について」(令和5年6月)を踏まえた今後の埼玉県がん検診精度管理評価事業における方針について

事務局から、今後の本県の肺がん検診の精度管理評価において採用するプロセス指標及び基準値案について説明があった。

これについて、次のとおり事務局に対し質疑及び意見があった。

(○：質疑委員 ●：事務局)

- 今回の精度管理の新基準値に受診率は入っていないのか。
- 受診率については、国のがん対策計画や県のがん対策の計画において、国民生活基礎調査の数値を用いて「60%以上」が目標数値となっている。
- 受診率については、上限69歳と上限74歳の2つを使っていくのか。
- 受診率については、上限69歳の数値を使用する。受診率以外のプロセス指標については、これまでと同じく上限74歳としている。
- 先ほどの柴崎委員の報告にもあったように、70歳～74歳は非常に多い状況になっている。国に合わせた上限69歳では、あまり上がっていないように見える受診率も、74歳まで入れるとここ数年で上がっているというようなことがあり得るかと思う。そのあたりについて両方出す等についてはどうか。
- 統一集計の集計表自体に、受診率も含めて上限69歳と上限74歳及び指針年齢全体の数値について自動計算する数式を入れ込んであるので、これらについて確認することが可能である。
- 達成された指標が多いのももう少し厳しい基準にしなければならないというのは分かるが、目標というのは厳しすぎても簡単すぎても意味がない。この数値はどのような概念で算出されたのか。感覚的なのか、それとも何かの計算式に基づいて出されたものか。
- 各数字について詳細な計算式は手元にないが、国立がん研究センターの研究班が、まず感度・特異度の数値を目指すべき値として出し、そこから逆算をして、各数値を定めていった結果の値となっている。

プロセス指標及び基準値案について

案のとおり認める。(承認した新基準値等について別紙のとおり)

(3) 全国がん登録罹患報告書「埼玉県のがん2021」について (報告)

事務局から、資料に基づき説明があった。

これについて、次のとおり事務局に対し質疑及び意見があった。

(○：質疑委員 ●：事務局)

- 県外に行って診断や治療を受けている方に関しても、がん登録情報では拾えているのか。

- 全国で同じ制度のもと各都道府県が集計しており、各病院から届けられた情報に患者住所が含まれているため、それをもとに同一人物を集約することができる。
- どこで一次検査を受けたか、どこで医療を受けたかもわかるのか。
- 一次検診を受けたかというところまではわからないが、初診した病院がどこか、診断をした病院がどこか、治療については初回治療という枠組みで最初の診断の時に計画をされた治療についてのみ、どこでこういった治療されたかという情報は集計されている。
- 市町村が自分のところで検診を受けてくれた人がどこに行ったかまでは、この登録ではわからないということによいか。
- そこまで追うのは難しい。
- 資料の「精密検査受診率と検診発見割合の関係」において、精密検査受診率は0%だが検診発見率が10%や30%というのがあるが、これはどういう意味か。
- いわゆる市町村が実施しているがん検診のほか、特定健診や健康診断、その他職域等で実施されている人間ドックが検診発見という形で集計されている。よって、市町村の検診ではなく市町村が把握してないが、人間ドックで要精検になって個人的に精密検査に行って発見されたというケースが考えられる。
- 市町村の発見経緯の中で、「他疾患の経過中の偶然発見」が非常に多いが、これは「他疾患で受診はしているけれども検診を受診していない」ということか。
- 「他疾患の経過中の偶然発見」については、他のがんを罹患しており、その治療中で肺のがんも見つかったであるとか、がんでなくても他の疾患治療中であるとか、経過観察中の検査で肺のがんも見つかった等が入ってくるものとなっている。

また、この発見経緯は病院としてどれか一つのみ選択して提出され、その数及び割合を集計しているものなので、複数の経緯で発見されたという可能性はあり得るが把握はできない。
- 他の都道府県では、協力的な市町村があって、データを提供することについてかなり進んでいるところは進んでいる、ただ、なかなか一般的に難しいという状況だったかと思う。

先ほどの議事にもあったように感度・特異度を精度管理に使おうとすると、がん登録情報を利用しないと求められないので、いずれマイナーカードにデータが入って同意を得ているから使っているというような時期が来るのかなと見ているが、そのような情報は県のほうで持っているか。又は県の方で何か考えているか。
- マイナンバーカードとの連携について、そのような情報・動きについては現時

点では把握していない。

また、県の方で、具体的にいつこういう方法で動き出す、というようなものは、今のところはない。

がん登録に関わり全国の学術集会に何度か参加していると、やはり委員のおっしゃる通り、県が主導となって感度・特異度を算出するための情報利用を進めているところは、進んでいるという印象を持っている。

ただ、県がいくらやりたいとなっても、市町村も個人情報の取り扱いについてのハードルが高いと思うので、そのあたりも説明をしながら、うまく県も市も両方の意向が合致しないとなかなか難しいと思っている。

- 問題になってくるのは、やはり個人情報の部分になってくると思う。今後、特異度・感度が出てくるのであれば、個人情報の提供に対応した問診票の作り方も考えていかないといけないかと思う。
それは行政、市町村と県が合わせてやっていただかないといけないと思うので、よろしく願いしたい。

(4) 事務局からの連絡事項

事務局から次のとおり連絡があった。

- 令和7年12月24日付けで厚労省からがん検診の指針について改正し、令和8年4月1日から適用する旨の通知があった。
内容は、指針から喀痰細胞診を実施する旨の記載については削除されるものであり、今年度の協議会で承認いただいたがん検診結果統一様式について、指針の改正を反映する必要があるので、引き続き御相談させていただきたい。

今後の本県における肺がん検診の精度管理評価に用いる新基準値

【40～74歳】

精検受診率		受診歴計	90%以上
要精検率	男女計		2.3%以下
	(男性)		(2.8%以下)
	(女性)		(2.0%以下)
がん発見率	男女計		0.05%以上
	(男性)		(0.08%以上)
	(女性)		(0.03%以上)
陽性反応適中度	男女計		2.2%以上
	(男性)		(2.9%以上)
	(女性)		(1.7%以上)

※精検未受診率・精検未把握率については、
評価指標としないが引き続き集計し、精検受診率が低い場合の分析ツールとして
適宜活用する。

令和7年度埼玉県生活習慣病検診管理指導協議会 大腸がん部会報告書

- 1 開催日時 令和7年12月9日(火) 18時30分～19時31分
- 2 開催方法 Microsoft Teamsによるオンライン開催
- 3 出席委員 栗原 浩幸委員、丸木 雄一委員、濱口 哲弥委員、梶原 由規委員、長寄 寿矢委員、丸山 浩委員、柴崎 智美委員

4 議事

- (1) 市町村における大腸がん検診実施状況について(がん検診統一集計)

柴崎委員から資料に基づき報告があった。

- (2) 「がん検診事業のあり方について」(令和5年6月)を踏まえた今後の埼玉県がん検診精度管理評価事業における方針について

事務局から、今後の本県の大腸がん検診の精度管理評価において採用するプロセス指標及び基準値案について説明があった。

これについて、次のとおり事務局に対し質疑があった。

(○：質疑委員 ●：事務局)

- 他の県は既に新基準値を採用しているのか。また、全国的に新基準値を採用していく方針なのか。

- 東京都と栃木県はすでに今回のような会議を開き、新基準値等を採用していくこととなったことは把握しているが、その他全体がどのぐらい採用しているかというのはまだ把握していない。

ただ、これまで示されてきた許容値については全国的にクリアされているので、今後、より高い水準を目指すべきというのは全国的な流れとなると考えている。

プロセス指標及び基準値案について

案のとおり認める。(承認した新基準値等について別紙のとおり)

- (3) 全国がん登録罹患報告書「埼玉県のがん2021」について(報告)
事務局から、資料に基づき説明があった。

今後の本県における大腸がん検診の精度管理評価に用いる新基準値

【40～74歳】

精検受診率			90%以上
要精検率	男女計	受診歴計	6.8%以下
	(男性)		(8.6%以下)
(女性)	(5.8%以下)		
がん発見率	男女計		0.21%以上
	(男性)		(0.31%以上)
(女性)	(0.14%以上)		
陽性反応適中度	男女計	3.0%以上	
	(男性)	(3.6%以上)	
(女性)	(2.5%以上)		

※精検未受診率・精検未把握率については、
評価指標としないが引き続き集計し、精検受診率が低い場合の分析ツールとして
適宜活用する。

令和7年度埼玉県生活習慣病検診管理指導協議会 乳がん部会報告書

- 1 開催日時 令和8年1月30日（金） 18時00分～19時22分
- 2 開催方法 Microsoft Teamsによるオンライン開催
- 3 出席委員 洪 淳一委員、二宮 淳委員、大崎 昭彦委員、田中 良知委員、柴崎 智美委員

4 議事

(1) 市町村における乳がん検診実施状況について(がん検診統一集計)

柴崎委員から資料に基づき報告があった。

これについて、委員及び事務局に対し以下のとおり質疑があった。

(○：質疑委員 ◎：柴崎委員 ●：事務局)

- 令和6年度から腫瘍マーカーを導入した自治体は、どのような理由で導入したのか。
- がん検診として実施しているが、市民サービスや女性の若年層に対するがん検診の啓発という意味合いで実施していると聞いている。
- 令和7年度に超音波を併用している自治体は前年度より減っているか。
- ◎ 減っている。
- 指針外検診については、指導協議会の方で通知を発出しているのですが、その効果は2、3年すると少しずつ出てきて、指針外検診を行う市町村は減ってくることを期待している。このことについて事務局で意見はあるか。
- 指針に基づく検診を求める通知を発出し、この通知をもって検討をすると回答いただいた市町村もいくつかあるので、今後減っていくということを期待している。

(2) 「がん検診事業のあり方について」(令和5年6月)を踏まえた今後の埼玉県がん検診精度管理評価事業における方針について

事務局から、今後の本県の乳がん検診の精度管理評価において採用するプロセス指標及び基準値案について説明があった。

これについて、次のとおり事務局に対し質疑及び意見があった。

(○：質疑委員 ●：事務局)

- 新たに「非初回受診者の2年連続受診者割合」の指標が追加されたが、新規の受診者が増えないとデータを取っているだけということになる。新規の受診者を増やす働きかけはしているか。
- 市町村の方において、乳がん検診が始まる年齢の方には無料クーポンを配る等の対策をしている。
- データを取るのには意味があると思うが、目標値をクリアするための政策をしないと、このままずっと同じになる。クーポンもいい案かと思うが、それは継続して新たな啓蒙等を考えてほしい。
- 初回・非初回別に報告できない市町村は多いのか。
- さいたま市だけだが、当該市の人数は県全体において大きな割合を占めているので、ここが解消されないと全体の評価が難しい。マンパワー不足が原因と聞いているが、現在、国で検診管理システム標準化の動きがあり、標準化後は初回・非初回別に報告できるようになるかもしれないという話を聞いている。今後、標準化に伴い解消されることを期待している。
- 今回の新基準値は、満たす市町村はかなり少なくなると思う。要精検率は毎年の推移を見ても、新基準値をクリアしていくとなると読影側にある程度働きかけをしない限りは基準値をクリアしてくるところが少ないと思うが、疾病対策側として、各市町村に要精検率を下げる努力として、具体的に何かをやってほしいというものはあるか。
- 具体的なことは決まっていないが、働きかけというのは重要となってくるので検討していく必要があると考えている。
- 新規基準値の採用が決定したら、疾病対策課を中心として、各市町村に対して新基準値を満たすよう検診を努力していただきたいという趣旨の文章を当然発出すると思うので、そういうことで少し地道にやっていくしかないと思っている。

プロセス指標及び基準値案について

案のとおり認める。(承認した新基準値等について別紙のとおり)

- (3) 全国がん登録罹患報告書「埼玉県のがん2021」について(報告)
事務局から、資料に基づき説明があった。
これについて、次のとおり事務局に対し質疑があった。
(○: 質疑委員 ●: 事務局)
- 「罹患の概要」で、罹患数の後ろに「(上皮内がんを除く)」と書いてあるが、なぜ除外しているのか。

- 当部会資料の作成にあたり上皮内がんを除く数字を使った。上皮内がんを含む件数も集計して報告を行っている。
- がん登録がないと、いわゆる検診のデータとしてしっかり出ないというところがある。感度・特異度を出せるところは、がん登録を昔からやったところしか出せてないと思う。今後、日本各県ごとに出していこうとなると大変だと思うが、その辺をどうされるのかというところだと思う。
いわゆる精検未把握者を追跡するシステムがないと中々うまくいかないし、その辺を追いかけていくと膨大な時間が必要で、専属でやってるような人がいないとなかなか難しいかと思う。
- おっしゃる通り、全国でもちゃんとできているのが数箇所しかない。
がん検診の追跡というところで行くと、今は市町村が通知を送ったり電話をしたりというところしかないが、今後、令和11年かもう少し先になるが、自治体検診DXで、マイナンバー等から自動で収集できるような形を目指すということで国は動いている。
- がん登録は大変な作業で、マイナンバーがどこまで使えるのか分からないが、入力の手間が省けないかと思ってるので、ぜひそういうシステムを作っていただければと思う。

今後の本県における乳がん検診の精度管理評価に用いる新基準値

【40～74歳】

精検受診率	受診歴計	90%以上
要精検率		6.5%以下
がん発見率		0.40%以上
陽性反応適中度		6.1%以上
非初回受診者の2年連続受診者割合		30%以下

※精検未受診率・精検未把握率については、
評価指標としないが引き続き集計し、精検受診率が低い場合の分析ツールとして
適宜活用する。

令和7年度埼玉県生活習慣病検診管理指導協議会 子宮がん部会報告書

- 1 開催日時 令和8年2月13日（金） 18時00分～19時38分
- 2 開催方法 Microsoft Teamsによるオンライン開催
- 3 出席委員 清水 謙委員、高野 政志委員、青木 龍哉委員、柴崎 智美委員

4 議事

(1) 市町村における子宮がん検診実施状況について(がん検診統一集計)

柴崎委員から資料に基づき報告があった。

これについて、委員及び事務局に対し以下のとおり質疑があった。

(○：質疑委員 ◎：柴崎委員)

○ 令和5年度から一般だけでなく、妊婦全体も集計対象としたために、今回、受診者数や若年層の受診者数が、前年度と比べると増えているという話があった。嬉しいことである。

◎ 令和6年度集計も同じような結果が出そう。引き続き妊婦を増やしたからということだけでなく、若い受診者が増えていくことが継続していくといいと考えている。

(2) 「がん検診事業のあり方について」(令和5年6月)を踏まえた今後の埼玉県がん検診精度管理評価事業における方針について

事務局から、今後の本県の子宮がん検診の精度管理評価において採用するプロセス指標及び基準値案について説明があった。

これについて、次のとおり事務局に対し質疑及び意見があった。

(○：質疑委員 ●：事務局)

○ がん発見率について、令和5年度がん検診結果統一集計 CIN3以上がん発見率が0%の市町村もあったが、がん発見がないため0%なのか、CIN3以上の集計ができないため0%なのか、確認したい。

● がん発見がないため0%となっている。

プロセス指標及び基準値案について

案のとおり認める。(承認した新基準値等について別紙1のとおり)

(3) HPV 検査単独法を採用した子宮頸がん検診の精度管理状況等について

志木市、和光市の担当者から、令和6年度の実施結果および今年度の取り組みなどについて説明があった。

これについて、次のとおり志木市、和光市の担当者に対し質疑及び意見があった。

(○：質疑委員 ■：市担当者)

- 市民の方が転出した場合、転出先が HPV 検査単独法を採用していないことが考えられる。そういったケースでは、転出者はどのように受診したら良いのか。
- HPV 単独法をおこなっている市町村は今のところ 3 か所だけのため、和光市としては、転出された場合は、細胞診の受診を勧奨している。
- 志木市は、具体的に決まっていない。転出者は、転出先の自治体に相談いただくことになると思われるので、転出先の自治体に HPV 単独法について情報提供等を行っていきたいと考えている。
- 未受診へのフォローもしっかりされていて、非常に感銘して聞いていた。HPV 検査単独法の結果が要精検となった場合、精検を受診する病院は別の施設になると思うが、その辺りは連携できているのか。
- 要精検となった方には、近場で受診可能な医療機関一覧を渡している。
- HPV 検査単独法を実施している横浜市から転入があった場合は、検診データもスムーズにデータベース等に取り込まれるのか。
- システム上で前住所の検診のデータをシステム上で照会することができるため、照会した結果をデータベースに入力することで対応する。

(4) 全国がん登録罹患報告書「埼玉県のがん 2021」について (報告)

事務局から、資料に基づき説明があった。

これについて、次のとおり事務局に対し質疑があった。

(○：質疑委員 ●：事務局)

- 診断時の患者住所と主な治療を実施した病院の住所の関係について、県外病院で主な治療を受けている患者がいるが、「勤務地が県外であるため」や「病院がないため」といった理由までわかるか。
- 理由まで明確にはわからない。

(5) 「子宮がん検診 受診票 兼 結果報告書」(県統一様式)の一部修正案について
事務局から、資料に基づき説明があった。

「子宮がん検診 受診票 兼 結果報告書」(県統一様式)の一部修正について
案のとおり認める。(承認した報告書様式は別紙 2、3 のとおり)

今後の本県における子宮がん検診の精度管理評価に用いる新基準値

精検受診率	20 ~ 74 歳	受診歴計	一律 90%以上
	20 ~ 39 歳		
	40 ~ 74 歳		
要精検率	20 ~ 74 歳		2.5%以下
	20 ~ 39 歳		4.2%以下
	40 ~ 74 歳		1.9%以下
がん発見率	20 ~ 74 歳		0.15%以上
	20 ~ 39 歳		0.18%以上
	40 ~ 74 歳		0.14%以上
陽性反応適中度	20 ~ 74 歳		5.9%以上
	20 ~ 39 歳		4.4%以上
	40 ~ 74 歳		7.3%以上

※精検未受診率・精検未把握率については、
評価指標としないが引き続き集計し、精検受診率が低い場合の分析ツールとして
適宜活用する。

子宮がん検診 受診票 兼 結果報告書				①一次検診実施機関控		
<p>〇〇(市町村)子宮がん検診を申し込みます。 この受診票と検診結果及び精密検査の結果が医療機関から〇〇(市町村)へ返送されることを了承します。</p>		受付番号	検診年月日			
		〇〇(市町村)子宮がん検診 申込 兼 同意書(本人署名)				
		住所	(〒)			
		フリガナ				
		名前				様
		生年月日	年	月	日	(歳)
		電話番号				
<p>問診内容 ※該当する項目の□にシ点を記入してください</p>						
① 子宮がん検診を受けたことがありますか。	頸がん検診	□ はい ⇒ 時期:[]年[]月頃 □ いいえ 結果:□異常なし □要精密検査(病名:)				
	体がん検査	□ はい ⇒ 時期:[]年[]月頃 □ いいえ 結果:□異常なし □要精密検査(病名:)				
② 血縁者で「がん」にかかった人はいますか。	□ はい ⇒ 血縁関係:□父母 □子 □兄弟/姉妹 □祖父母 □ いいえ □わからない					
③ 婦人科の病気にかかったことはありますか。	□ はい ⇒ 時期:[]年[]月頃 病名・症状 () □ いいえ					
④ 子宮を摘出する手術を受けたことがありますか。	□ はい □ いいえ					
⑤ 最近の月経について教えてください。	月 日 から 日間 閉経 歳					
⑥ 最近6か月以内に不正性器出血(月経以外の出血や茶色のおりもの)がありましたか。	□ はい ⇒ □一時的な出血 □不規則月経 □月経が多い □ いいえ □月経が長い □褐色のおりもの					
⑦ 女性ホルモン剤を使っていますか。	□ はい ⇒ □ピル □更年期症状に対するホルモン剤 □ いいえ □その他()					
⑧ 現在、妊娠中または妊娠の可能性はありますか。	□ない □ある → (妊娠 週/最終月経 年 月 日)					
⑨ その他の確認事項	□ HPVワクチンを接種したことがある □ 出産歴がある □ 子宮内に避妊器具がはいている □ 性交渉の経験はない*					
<p>* 性交渉の経験がない場合は、子宮頸がんが発生するリスクは極めて低く、検診を受ける必要性はこれまで示されていません。 検査方法や検診の必要性などの説明を受けたうえで検診を受診するか相談することができます。</p>						
体がん検査項目	①最近6ヶ月以内の不正性器出血 □なし □あり		②最近6ヶ月以内の月経異常 □なし □あり			
	③最近6ヶ月以内の褐色帯下 □なし □あり					
同意書	私は子宮頸がん検診と併せて、子宮体がん検査を受けることに同意します					
		年 月 日 署名				
【結果報告書】						
頸がん検診			体がん検査			
視診	□ 異常なし □ ポリープ □ 子宮筋腫					
内診	□ 付属器腫瘍 □ その他()					
標本作成方法	□ 直接塗抹法 □ 液状化検体法	採取器具 □へら □ブラシ □サーベックスブラシ □サイトピック □綿棒 □その他()	採取器具 □エンドサイト □エンドサーチ □吸引 □ブラシ □その他()			
標本の適否	□適正 □不適正					
細胞診判定	□ NILM 【陰性】		精密検査不要			
	□ ASC-US 【意義不明な異型扁平上皮細胞】		要精密検査 □陰性 □疑陽性 □陽性 □判定不能 □器具挿入不能(採取不能)			
	□ ASC-H 【HSILを除外できない異型扁平上皮細胞】					
	□ LSIL 【軽度扁平上皮内病変疑い】					
	□ HSIL 【高度扁平上皮内病変疑い】 ↓分類が可能な場合記入してください					
	□ HSIL(中等度異形成) □ HSIL(高度異形成)					
	□ HSIL(上皮内癌)					
	□ SCC 【扁平上皮癌疑い】					
□ AGC 【異型腺細胞疑い】						
腺系異常	□ AIS 【上皮内腺癌疑い】					
その他の悪性腫瘍	□ Adenocarcinoma 【腺癌疑い】 □ Other malign. 【その他の悪性腫瘍疑い】					
コメント						
結果	□精密検査不要 □要精密検査(子宮頸がん疑い) □判定不能			□異常なし □要再検 □要精検		
細胞診検査所		細胞検査士	細胞診専門医	報告年月日		

子宮がん検診 受診票 兼 結果報告書				②市町村控	
<p>〇〇(市町村)子宮がん検診を申し込みます。 この受診票と検診結果及び精密検査の結果が医療機関から〇〇(市町村)へ返送されることを了承します。</p>		受付番号	検診年月日		
		〇〇(市町村)子宮がん検診 申込 兼 同意書(本人署名)			
		住所	(〒)		
		フリガナ			
		名前	様		
		生年月日	年 月 日	(歳)	
電話番号					
問診内容 ※該当する項目の□にシ点を記入してください					
① 子宮がん検診を受けたことがありますか。	頸がん検診	<input type="checkbox"/> はい ⇒ 時期:[]年[]月頃 <input type="checkbox"/> いいえ 結果: <input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 要精密検査(病名:)			
	体がん検査	<input type="checkbox"/> はい ⇒ 時期:[]年[]月頃 <input type="checkbox"/> いいえ 結果: <input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 要精密検査(病名:)			
② 血縁者に「がん」にかかった人はいますか。	<input type="checkbox"/> はい ⇒ 血縁関係: <input type="checkbox"/> 父母 <input type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> 兄弟/姉妹 <input type="checkbox"/> 祖父母 <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わからない				
③ 婦人科の病気にかかったことはありますか。	<input type="checkbox"/> はい ⇒ 時期:[]年[]月頃 病名・症状 () <input type="checkbox"/> いいえ				
④ 子宮を摘出する手術を受けたことがありますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ				
⑤ 最近の月経について教えてください。	月 日 から 日間 閉経 歳				
⑥ 最近6か月以内に不正性器出血(月経以外の出血や茶色のおりもの)がありましたか。	<input type="checkbox"/> はい ⇒ <input type="checkbox"/> 一時的な出血 <input type="checkbox"/> 不規則月経 <input type="checkbox"/> 月経が多い <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 月経が長い <input type="checkbox"/> 褐色のおりもの				
⑦ 女性ホルモン剤を使っていますか。	<input type="checkbox"/> はい ⇒ <input type="checkbox"/> ピル <input type="checkbox"/> 更年期症状に対するホルモン剤 <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> その他 ()				
⑧ 現在、妊娠中または妊娠の可能性はありますか。	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → (妊娠 週/最終月経 年 月 日) <input type="checkbox"/> HPVワクチンを接種したことがある <input type="checkbox"/> 出産歴がある				
⑨ その他の確認事項	<input type="checkbox"/> 子宮内に避妊器具がはいつている <input type="checkbox"/> 性交渉の経験はない*				
※性交渉の経験がない場合は、子宮頸がんが発生するリスクは極めて低く、検診を受ける必要性はこれまで示されていません。 検査方法や検診の必要性などの説明を受けたうえで検診を受診するか相談することができます。					
体がん検査項目	①最近6ヶ月以内の不正性器出血 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		②最近6ヶ月以内の月経異常 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		
	③最近6ヶ月以内の褐色帯下 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり				
同意書		私は子宮頸がん検診と併せて、子宮体がん検査を受けることに同意します			
		年 月 日 署名			
【結果報告書】					
頸がん検診			体がん検査		
視診	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> ポリープ <input type="checkbox"/> 子宮筋腫				
内診	<input type="checkbox"/> 付属器腫瘍 <input type="checkbox"/> その他()				
標本作成方法	<input type="checkbox"/> 直接塗抹法	採取器具	<input type="checkbox"/> へら <input type="checkbox"/> ブラシ <input type="checkbox"/> サーベックスブラシ	採取器具 <input type="checkbox"/> エンドサイト <input type="checkbox"/> エンドサーチ <input type="checkbox"/> 吸引	
	<input type="checkbox"/> 液状化検体法		<input type="checkbox"/> サイトピック <input type="checkbox"/> 綿棒 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> ブラシ <input type="checkbox"/> その他()	
標本の適否	<input type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 不適正				
細胞診判定	<input type="checkbox"/> NILM【陰性】		精密検査不要		
	<input type="checkbox"/> ASC-US【意義不明な異型扁平上皮細胞】		要精密検査 <input type="checkbox"/> 陰性 <input type="checkbox"/> 疑陽性 <input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 判定不能 <input type="checkbox"/> 器具挿入不能(採取不能)		
	<input type="checkbox"/> ASC-H【HSILを除外できない異型扁平上皮細胞】				
	<input type="checkbox"/> LSIL【軽度扁平上皮内病変疑い】				
	<input type="checkbox"/> HSIL【高度扁平上皮内病変疑い】				
	↓分類が可能な場合記入してください				
	<input type="checkbox"/> HSIL(中等度異形成) <input type="checkbox"/> HSIL(高度異形成)				
<input type="checkbox"/> HSIL(上皮内癌)					
<input type="checkbox"/> SCC【扁平上皮癌疑い】					
腺系異常	<input type="checkbox"/> AGC【異型腺細胞疑い】				
	<input type="checkbox"/> AIS【上皮内腺癌疑い】				
その他の悪性腫瘍	<input type="checkbox"/> Adenocarcinoma【腺癌疑い】				
	<input type="checkbox"/> Other malign【その他の悪性腫瘍疑い】				
コメント					
結果	<input type="checkbox"/> 精密検査不要 <input type="checkbox"/> 要精密検査(子宮頸がん疑い) <input type="checkbox"/> 判定不能			<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 要再検 <input type="checkbox"/> 要精検	
細胞診検査所		細胞検査士		細胞診専門医	
				報告年月日	